

定例記者会見

令和6年6月3日（月）13時30分

- 1 市政の動向
- 2 主な議案等のポイント
- 3 令和6年度 第2回補正予算のポイント



1 市政の動向

(1) 薩摩川内市域を中心としたサーキュラーエコノミー実証事業の推進に向けた連携協定締結式

2月16日、国立大学法人鹿児島大学、九州電力株式会社、サーキュラーパーク九州株式会社及び本市の連携・協力のもと、薩摩川内市域を中心としたサーキュラーエコノミー実証事業を推進することを目的に連携協定を締結しました。



(2) 川内港久見崎みらいゾーンの用地売却

現在、薩摩川内市土地開発公社を事業主体として進めている川内港久見崎みらいゾーンの用地の一部について、令和6年2月に小西安株式会社、株式会社宮下組に、3月に九州電力株式会社に対して売却しました。



(3) 「川内大綱引」国の重要無形民俗文化財に指定

3月21日に、「川内大綱引」が国の重要無形民俗文化財に指定され、文化庁長官から川内大綱引保存会長へ指定証書が授与されました。
それに伴い、3月26日に懸垂幕のお披露目式を行いました。



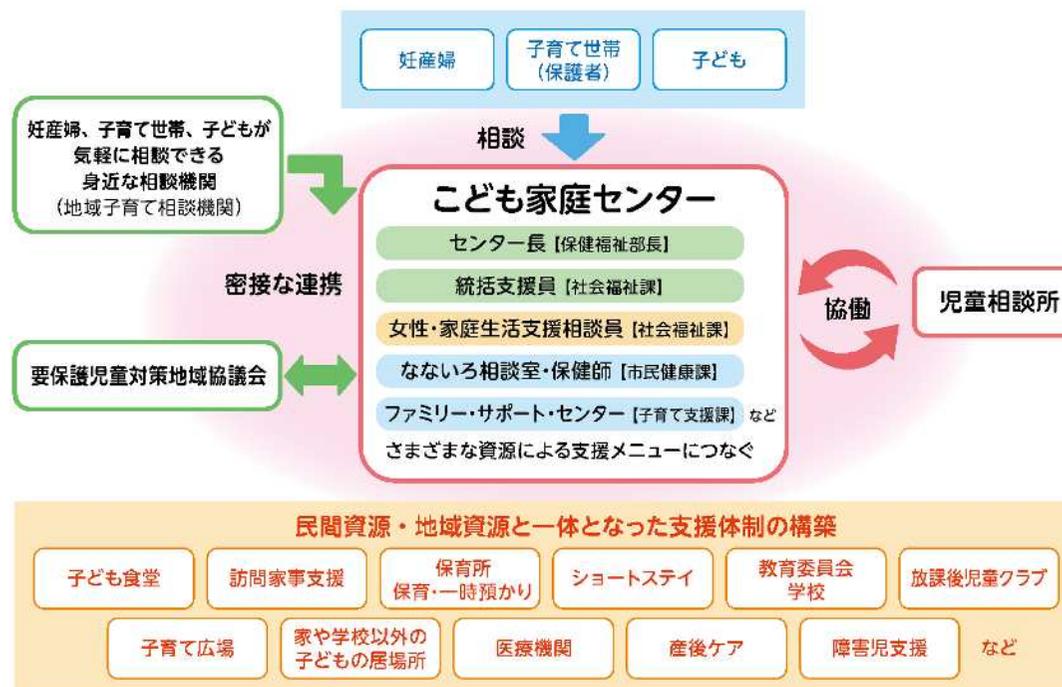
(4) 市誕生20周年記念事業推進本部設置

4月1日、市誕生20周年の記念事業などを推進するための意思決定機関である「薩摩川内市誕生20周年記念事業推進本部」を設置しました。市民とともに祝う記念事業の実施や次世代を担う若者が楽しみ、輝けるような取り組みを実施していきます。



(5) こども家庭センター設置

本市に既に設置済みの「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）」と「子育て世代包括支援センター（母子保健）」の機能を維持した上で組織を見直し、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として、4月1日に「薩摩川内市こども家庭センター」を設置しました。



(6) 祁答院小学校開校

「未来ある子どもたちに、より良い教育環境を整えたい」という強い思いから、祁答院地域の4つの小学校を統合した祁答院小学校が誕生し、4月8日、祁答院小学校で開校式と入学式が行われました。



(7) 川内港国際定期コンテナ航路開設20周年記念式典

4月24日、川内港国際定期コンテナ航路開設20周年記念式典を開催しました。平成16年4月に韓国向けの国際定期コンテナ航路が開設されて以来、川内港の振興にご尽力頂いた船社、荷役業者、通関業者など11社に感謝状を授与しました。



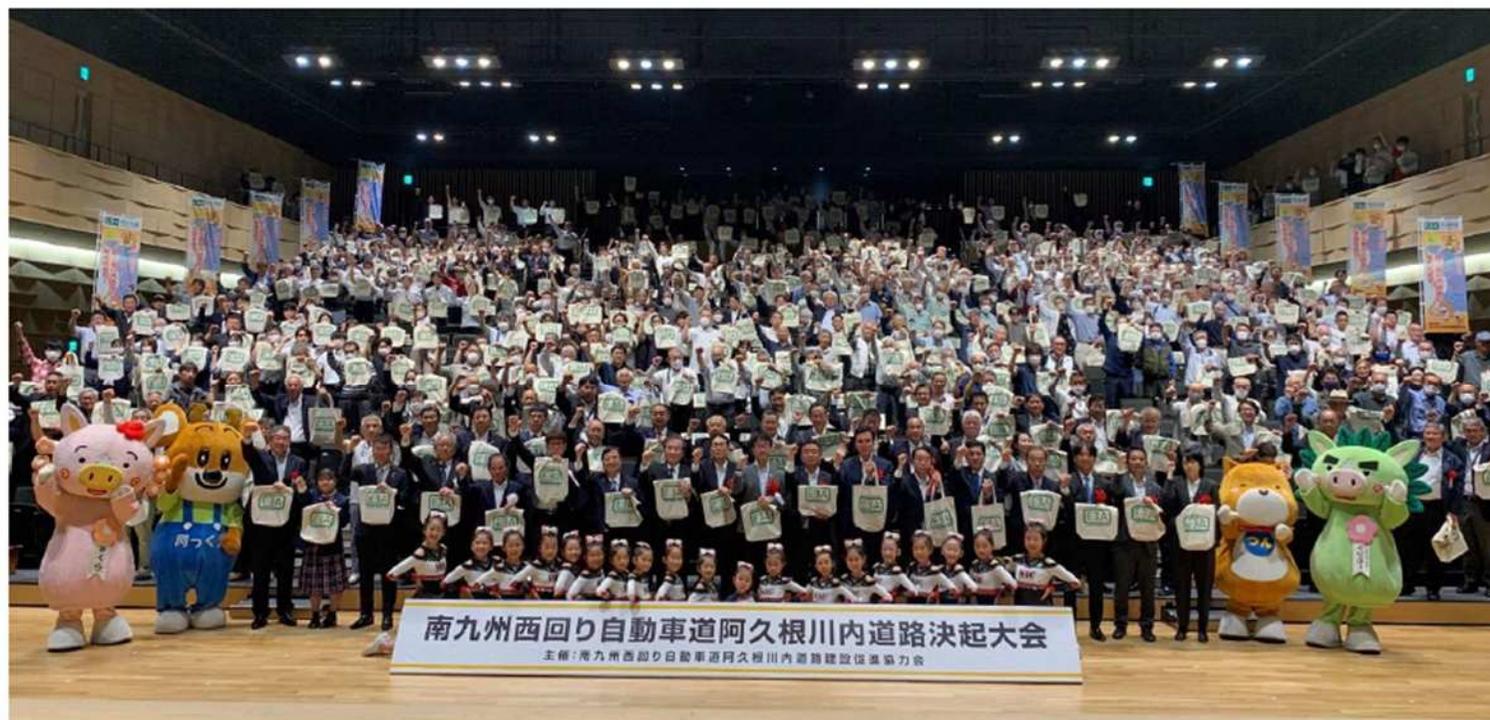
(8) 薩摩川内市誕生20周年記念植樹

5月5日、寺山いこいの広場で、薩摩川内市誕生20周年を記念し、入来緑の少年団など未来を担う子どもたちと薩摩川内市の市木「クロガネモチ」の記念植樹を行いました。



(9) 南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会

5月18日、早期完成を国等に強くアピールするため、地元選出の国会議員など、関係者参列のもと、3年連続となる南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会が、本市共催のもと南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設促進協力会の主催により開催しました。



E3A バックを掲げての集合写真

(10) 国・県事業の実施に関する要望

5月22日、鹿児島県知事に対し国・県事業の実施に関する要望を実施しました。11分野25項目の要望のうち、「重要港湾川内港の機能充実」を含め、「原子力発電所に関する要望」など知事に説明を行いました。



2 主な議案等のポイント

議 案 合計 11件

- | | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 一般議案 | 8件 |
| 2 | 令和6年度補正予算関係議案 | 3件 |

報 告 合計 13件

- | | | |
|---|------------------------|-----|
| 1 | 専決処分の承認 | 3件 |
| 2 | 継続費及び繰越明許費に係る
繰越計算書 | 10件 |

議案第57号

防災行政無線システム更新事業（第1期）工事請負契約の締結について

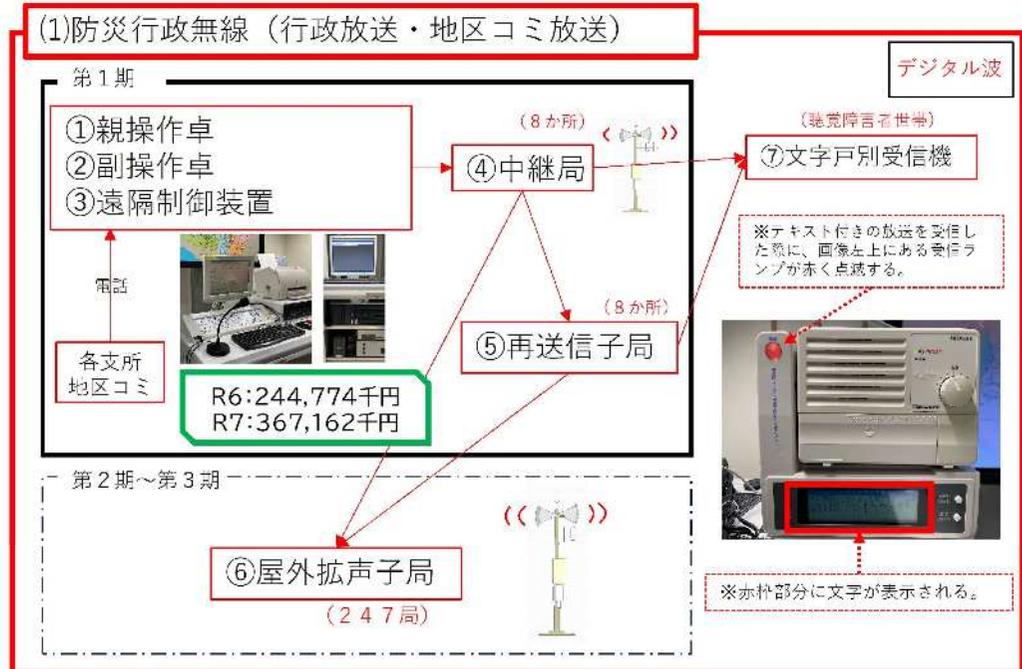
防災行政無線システム更新事業（第1期）工事について、工事請負契約を締結しようとするもの。

○概要

令和7年度までの2年をかけて、防災行政無線の機器（①～⑤）を更新します。

<更新機器>

- ①親操作卓
- ②副操作卓
- ③遠隔制御装置
- ④中継局
- ⑤再送信子局



報告第5号

専決処分の承認を求めるについて（令和6年度薩摩川内市一般会計補正予算）

○ 定額減税補足給付金事業

物価高騰により厳しい状況にある生活者への支援として、定額減税を補足する給付金を支給します。

※定額減税補足給付金（調整給付）等支給プロジェクトチームの設置
（5月21日付け）

＜支給対象者＞

定額減税可能額が減税前税額を上回る（減税しきれない）と見込まれる所得税・住民税の納税義務者

【見込み】18,000納税者、16,000世帯

＜事業費＞ 8億1,980万2千円

3 令和6年度 第2回補正予算のポイント



○一般会計

- ・補正額 4億3800万3千円
- ・補正後の予算額

588億1,780万5千円

(前年度同期比 3.86%増)

(1) 離島地域子ども通院費等助成事業【新規】

甌島区域で必要とする医療等を受けることができず、島外の医療機関等へ通院等をせざるを得ない子どもとその付添者に係る経済的負担の軽減を図るため、通院等に要する交通・宿泊費の一部を助成します。

<対象者>

- 子ども（18歳到達後最初の3月31日までの者）及び付添者1名
※島外で医療等を受ける必要があると判断された者

<助成対象> ※令和6年4月1日以降の対象経費が助成対象

- 交通費：高速船またはフェリーの船賃の2/3
(同一年度内で年6回まで)
- 宿泊費：宿泊費の2/3
(1泊当たりの上限額5,000円 1回の通院等で2泊まで)

<事業費> 472万4千円

事項名：子ども医療費助成費（担当課：子育て支援課）

(2) 産後ケア推進事業【拡充】

母子とその家族が安心して子育てができるよう支援し、経済的負担の軽減を図るため、産後ケア事業を利用する産婦に対し、自己負担額を一人5回まで無償化します。

<事業費> 42万5千円

事項名：母子保健事業費（担当課：市民健康課）

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種事業【新規】

新型コロナウイルスワクチン接種については、令和6年度から予防接種法に基づく定期接種のB類疾病となり、秋冬に年1回、高齢者への季節性インフルエンザと同様に個別接種を進めます。

なお、令和5年度までは接種費用は無料でしたが、令和6年度からは接種費用の一部を助成します。



<事業費> 2億4,999万1千円

事項名：感染症等予防費（担当課：市民健康課）

(4) 令和6年能登半島地震災害支援職員派遣事業【新規】

令和6年能登半島地震の発生に伴い、国県・全国市長会等からの要請に応じ、職員を派遣します。

- 中長期派遣 1人
派遣先 : 石川県志賀町
業務内容 : 公費解体に関する業務等（業務委託、書類審査等）

- 短期派遣 9人程度（延べ126日）
派遣先 : 石川県内の各市町

<事業費> 339万7千円

事項名 : 能登半島地震災害支援事業費（担当課 : 総務課）